



## 理事長・学長からのメッセージ

### オリエンテーションということ

学校法人中越学園 理事長

土田 和弘



今年度は新型コロナの流行のため、年度初め恒例のオリエンテーションも変則的になってしまいました。ところでこのオリエンテーションという言葉の意味は本来、オリент(東、東洋)という言葉に由来します。つまりどちらが東の方向であるかを示すことがオリエンテーションということです。「西も東もわからない」という表現がありますが、人間の認識の根底には、空間と時間の中での自分の位置把握の感覚があります。オリエンテーションの場合は、ヨーロッパから見て太陽の上る方向、これが空間の基準になっているわけです。面白いことに、この基準は各国によって異なる場合があります。例えばポルトガル語では「北」が基準になります。そこで、「当惑する、途方に暮れる」という意味の表現は、「北を失う」という言い方になります。航海王エンリケを出したポルトガルでは、航海に必須の北極星が基準だったということです。

モンゴル語では「南」であり、なんと「南」という単語は「前」という単語と同じです。日本語や中国語もやはり「南」であって、それが「指南」という言葉となっています。

これに対して、時間についてはそのような方向感覚を示す言葉はごく貧弱です。新型コロナの流行で社会が向かっている方向がわかりづらくなっています。どうやらそれは各自で見つけていかなくてはならないものようです。

### オンライン授業の導入にあたって

長岡大学 学長

村山 光博



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大防止のため、長岡大学では5月11日からオンライン授業を導入して前期授業を開始しました。本学では、これまでオンライン授業を行ったことはありませんでしたが、機材の調達や設置、ソフトウェアの設定など、4月から全学を挙げて準備に取り組み、さらに5月の連休中には学生の皆さんにも授業配信テストへの協力をいただきながら、予定通り授業を開始することができました。関係者の皆様のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

ところで、マイクロソフト社最高経営責任者(CEO)のサティア・ナデラ氏は、新型コロナウイルスが社会に与えた影響に関連して、「COVID-19は私たちの仕事と生活のあらゆる側面に影響を与え、この2か月間で2年分のデジタルトランスフォーメーション(デジタルによる変革)が見られた」と述べたと伝えられています。確かに、私自身も今年の頃は、まさか1年後に自分がYouTubeでオンライン授業を実施しているとは全く思ってもみませんでした。社会における教育のデジタル化も一気に進んだことを実感しています。

現在、本学のオンライン授業では、各学生が真剣に学習に取り組んでおり、対面授業の時よりも質問が増えたという教員の声もよく聞かれます。とは言え、他者とのリアルな関わりの中で学んでほしいこともたくさんありますので、学生の皆さんが1日も早くこの長岡大学のキャンパスに集ってもらえる時を心待ちにしております。

### オンライン授業で最大限の教育効果を目指しています

長岡大学 教授 石川 英樹

5月11日、今年度授業が開始されました。全授業が、YouTube動画ライブ配信、テレビ会議システムZoom、チャットツール等によるオンライン授業です。学生はスマートフォン、パソコン等の端末で受講します。ほとんどの授業の終了直後に、出欠確認も含めて授業内容関連の課題の送信が課されます。先日の全学的出席状況調査によると、出席状況は例年同様に良好でした。

遠隔授業では、教育の質の低下が心配です。それに対して、私たちはライブの双方向型授業を基本に、学生の音声・書き込みも交えて授業を進めます。YouTube配信授業では、授業動画の再視聴が復習に活用されています。少人数授業では学生同士のグループ討議も毎回実施します。

最近、感染拡大収束の兆しを感じられるようになりましたが、学生の健康最優先のため、面接授業の再開は依然困難だと本学は判断しています(参考として、5月20日時点の文部科学省調査で面接授業の実施大学は全国で27校、3.1%)。当面続くオンライン授業の下、引き続き本学は最大限の教育効果の達成を目指します。



ビデオカメラの前に動画ライブ配信の様子



## 新規着任教員からのメッセージ

### 悠久山の桜に迎えられ

長岡大学 准教授  
むらこし まき  
村越 真紀



この春長岡大学に着任いたしました、村越と申します。今年の1月まで台湾の科技大学で日本語を教えておりましたが、こちらでは留学生対象の科目と、ゼミI、ゼミII、グローバルスタディを担当いたします。

長年台湾に住んでいながら、華語も閩南語もほとんど話せず、お恥ずかしい限りですが、台湾では沢山の素敵な人々と出会い、様々な経験をし、視野が大きく広がりました。また、「外」から客観的に日本を見たことによる気づきも多く、日本での常識や習慣が海外でも通用するとは限らないということも実感しました。皆さんにも、ぜひ様々な国の人と交流し、世界の多様性を実感して、視野を広げてほしいと思っています。また、今年度は開講できませんでしたが、グローバルスタディでは、ぜひ海外での学びも体験してほしいと思っています。

担当するのはいずれも、専門科目を学ぶための基礎となる科目ですから、皆さんがしっかりと基礎を固め、スムーズに次のステップへと進めるよう、力を尽くしていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

### 米と歴史が好きな私

長岡大学 専任講師  
きょう せつひょう  
喬 雪氷



私は中国の北西部にある内蒙古自治区で生まれました。故郷は水資源が乏しく水田がない地域です。三十年前、物流が発達していなかった時代は、米を食べられるのが一日おきでした。学校から帰って、主食が米だと、私は嬉しくて、母に「将来、私は絶対毎日米を食べられる処へ行きます」と。その十数年後、私は瑞穂の国へ来ました。そして今年、コシヒカリの産地へ参りました。私の人生はまるで美味しい米を追いかける人生でした。

以前、群馬県大胡町にある養林寺の傍に住んでおり、そこは大胡城主牧野康成氏の菩提寺です。長岡へ越す前日、私は墓所にお線香を上げながら、「長岡へ行きます」と告げました。赴任して第一に、蒼柴神社へ参詣し、「これからよろしくお祈りします」と。苔に覆われる石畳を歩き、巨大な樹木から青空が透けて見え、時空を超えた「不変」を感じました。何百年の時が流れても、人と人が同じ道を歩きます。この不思議なご縁を大切に、自然と歴史が溢れる悠久山の麓で、教育と研究を精進してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

### 初めてづくしです

長岡大学 准教授  
たけもと たかゆき  
武本 隆行



今年度より長岡大学教員として着任いたしました。これまでは24年間民間企業でマーケティングの実務に従事して参りましたので、大学という世界で教鞭をとることは初めてのこととなります。加えて長岡市での生活も初めてですので、目にするモノ・コトの全てが新鮮な日々です。

マーケティングの基本は「しじみ」にあると言われます。海水でも淡水でもない「汽水」で生息するしじみのように、両極に振れるのではなく両端に目をやり、多方面に興味の感をあげていく。「日常生活を経済活動として見る」面白さを学生のみなさんとも共有が出来たら望外の喜びです。手探りにはなりますが、まずは講義の土台をとともに築いていくことが今年度の最重要課題だと考えています。

余談ではありますが、この春、初めて人の子の親になったことで、ファミリーターゲットのマーケティング戦略を父親視点でみられるようになり嬉しい限りです。

### 着任にあたっての挨拶とメッセージ

長岡大学 専任講師  
たかしま こうせい  
高島 幸成



令和2年4月から長岡大学で専任講師として着任した高島幸成です。学生時代は経営工学系の専攻で学びながら、コンピュータ上で経済モデルを作り経済現象を再現・分析するシミュレーション研究をしてきました。

長岡大学ではMicrosoft Officeの操作技術を中心とした情報系の科目を担当します。情報系スキルはどの職場であっても必要とされる世の中になっています。これらの技能を習得すると、何時間もかかる作業を大幅に短縮できるようになります。資格を得るだけでなく、資格の先にある仕事の効率化を目的に技術の習得をしてもらえるように教育に努めたいと思います。

大学は自分で勉めて学ぶ「勉学」の場です。勉学は勉めて学ぶことを強いる「勉強」とは異なります。自分が興味を持った事柄、達成したい目標に向けて自らの意志で考え、調べて、問題を解決する過程で知識を身につけていくことが勉学です。皆さんにはぜひ、様々な事柄に興味を持ち、いろいろな課題に取り組んで勉学に励んでもらいたいと思います。私はその挑戦の手助けをしていきたいと考えています。